

ワークシート（第3章 EPISODE）

EPISODE 3-1

● 進路に悩むIさん

高校3年生になったIさんは、自分の進路を決められずに苦しんでいます。Iさんは小・中学校では学級委員を務めるような積極性を持ち、困っている人には自分から助けにいくような思いやりのある性格でもあったことから、先生・周囲の仲間双方からの評価が高い生徒です。また、学業的にも優秀で、県で一番の進学校に入学し、その高校のなかでもトップクラスの成績を保っています。

「なんでもでき、なんにでもなれる」と幼い頃から言われ続け、自分でもそう思いながら育ってきたIさんですが、今はそれが悩みです。高校のクラス担任は、理系で成績優秀ということから医学部への進学を勧めてきましたが、自分が医者になるというイメージがわかず、「何か違う」感じもして、決断できません。逃げ道になるかと学部を決めずに入学できる海外の大学への進学も考えましたが、親に目標もなく留学することは認められないと断られました。時間ばかりが過ぎてしまい、夏には不安の蓄積によって体調を崩すまでになっています。

EPISODE 3-2

● 感情表現が苦手なIさん

EPISODE 3-1 に登場したIさんには2歳年上の姉がおり、興味関心の幅が広い姉は、自分から希望していろいろな習い事などをしていました。Iさんは姉のやっていることは何でもやりたがり、姉よりよい結果を出していましたが、自分から何かをやりたがることはあまりありませんでした。Iさんが学校生活のなかで何か問題を抱えたり、先生から問題を指摘されることはこれまでまったくといっていいほどありませんでしたが、感想文の課題でいつも苦労していたことから、Iさんの母親は、自分の考えを表現することがIさんの課題だと思ってきました。小学校中学年頃から豊かに自己表現する姉との違いが特に目立つようになったことから、親子での交換日記をもちかけてみたりもしましたが、結局、感情表現などの「Iさんらしさ」を引き出すことはできなかったそうです。一方で、Iさんは絵を描くことが上手で、家族を描いた作品がコンクールに入賞したりもしていました。母親として、うまくIさんの思いをつかみとることができてこなかったことが今の事態につながっているのかもしれないと、責任を感じているようでした。

●本章での学びを踏まえて、EPISODE 3-1, 3-2 を次の視点で検討してみましょう。

- ① Iさんが現在抱えている課題について、「わたし」の育ちという視点から整理してみましょう。
- ② Iさんの抱えている課題は、現在に至るまでの発達過程からどのような影響を受けているでしょうか。
- ③ Iさんは現在までの発達過程において、どのような支援を受けられるとよかったですでしょうか。

(EPISODE3-2 記入欄)

① Iさんが現在抱えている課題について、「わたし」の育ちという視点から整理してみましょう。

② Iさんの抱えている課題は、現在に至るまでの発達過程からどのような影響を受けているでしょうか。

③ Iさんは現在までの発達過程において、どのような支援を受けられるとよかったですでしょうか。

記入者名：

(日付： 年 月 日)